

狭山市教育委員会
教育長 向野 康雄 様

狭山市立入間川中学校
校長 関根 保子 印

令和2年度 狭山市立入間川中学校 学校関係者評価

※【評価の目安】 A:良くできている。 B:概ねできている。 C:あまりできていない。 D:できていない

領域	番号	評価項目	自己評価		学校運営協議会委員の意見 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・学校経営方針や重点目標、学校の様子については、学校だよりやHP等での発信の継続を努力した。保護者アンケートの結果は95.2%(A+B)であった。 ・入間川中が好きと答えた生徒は平均で91.6%(A+B)であった。(3年は93.0%、2年85.7%、1年94.4%)よい点は継続し、CやDの評価の生徒をなくすことを目指して教育活動に取り組む。	<p>・「たくましく心豊かで未来に向けて夢の実現に努力する生徒」この目標を具現化するために、川中の教育活動をしていくという先生方の強い意志を更に期待します。</p> <p>・学校の重点目標が明確であり、教職員・関係者が一致団結して進むべき方向が明らかで活動しやすい。</p> <p>・「入間川中が好きだ」と答えた生徒の割合が2年生が一番低いが、昨年度より若干上がっている(83.1%→85.7%)のは良い傾向だと思う。また3年生も昨年より7.1%上がっており、学校全体でより環境が醸成されていると感じた。</p> <p>・清掃には見方、仕方に個人差があるので90%以上なら「よい」である。状況を見るとみんなよく取り組んでいると感心している。</p> <p>・生徒に悩みが生じた際に「相談しやすい先生」がいてくれることはとても重要です。生徒の評価がやや低いように見えるが、何も悩みがない生徒が多いということでしょうか。</p> <p>・市の財政にもよるが、トイレは家庭と同じように最新の機器に取り換えるように希望します。</p>
	2	生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	A	・限られた教職員数で、皆で協力して取組もうとする雰囲気がある。感染症拡大防止にも全教職員協力のもと、取り組んだ。教育活動が円滑に展開されている。今後も強みを生かせるチームでありたい。	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	・清掃については、生徒A+B=93%であった。課題を明確にして無言清掃に取り組む、今後も心の指導、内容の充実、自主性の向上のための工夫をする。	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B	・施設、設備の老朽化に伴う修繕を行い、環境の改善を図った。教職員は定期的かつ日常的な安全点検に努めている。除草や樹木剪定等は地域の協力を得て、進めることができた。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A		
学習	6	教師は、生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	・保護者からは分かりやすい授業について95.3%(A+B)の肯定的な評価を得た。また生徒の「学ぶ内容がわかった」の項目はA+B=91.2%であった。次年度からの新学指導要領実施にあたり研修を実施し、授業力向上に取り組んでいる。学習者がより自主的に、より意欲的に取り組める支援の在り方を継続的な課題として取り組む。	<p>・県学力について、3年生になり学力が上がっている状況から、先生方の授業の成果が認められていると考えます。</p> <p>・先生方の「授業改善に務めます」という心意気が伝わってきます。「学校は勉強するところ」ですから、GIGAスクールからICT教育の推進、先生方を応援します。</p> <p>・今年度一年間の読書活動の取組はどうだったのでしょうか。来年度の取組を早急にお願いします。</p> <p>・近い将来35人学級が実現すると思いますが、一日も早くそうなってほしい。科目によってはボランティアや支援員を増やして少人数の支援を実現してほしい。</p> <p>・「勉強することが楽しくなる」ためには「理解できること」が必須であり、SSVCなど地域の力をもっと活用していただきたいと思います。</p> <p>・保護者からわかりやすい授業の肯定的評価が95.3%もあるのはコロナ禍で授業が進まない中で素晴らしい成果だと思う。</p> <p>・英語科で少人数指導を導入したのは、英語をコミュニケーションの道具として使えるようにするための場を増やすという意味からも良い取組であると思う。</p>
	7	生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	・生徒は落ち着いて授業を受けている。県学力・学習状況調査の結果は県平均をやや下回る結果であった。しかし、数学においては県平均を上回る領域が多く、少人数指導やSSVCなどの学習支援の成果がみられる。また、「勉強することが楽しい。」という問いに対し、1、2年生は肯定的な回答が県平均をやや下回ったが、3年生は上回っていた。さらに茶レンジスクールの冬季講座では1年生の3割以上の生徒が受講するなど学習意欲の面でも向上がみられる。	
	8	生徒は、基礎的基本的な学力を身につけている。	A	・家庭学習の取組向上のため、自主学習ノートに取り組んだ。計画的な家庭学習の取組への生徒評価はA+B=61.9%(昨年比+1%)であった。さらに取組を継続していく。	
	9	生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。	B	・英語の授業では積極的にコミュニケーションの場を設定するとともに、ALTの学習支援、少人数指導を展開した。	
	10	生徒は、英語活動をとおして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A		
規律ある態度	11	生徒は、進んであいさつをしている。	B	・「あいさつ」の項目では、生徒A+B=94.0%と自己評価が高いが、教職員からはA+B=70.6%と指導に課題を感じている。「自分から」あいさつの指導に取り組む。	<p>・生徒の、校内における生活の場にもまた一歩外へ出たときにも、地域の目があり接触があることは、規律ある態度の育成に役立つと思えます。</p> <p>・先生が生徒と一緒に掃除をされている姿や登下校の生徒に声をかけているところを何度も見ておりありがたく思っています。</p> <p>・アンケートの結果からは規律ある生活が遅れているように思う。学習面からも感染拡大防止の意味からも、規律ある生活は最も大事なことで、これよりも高いレベルでの規律ある生活を目指して頑張っていたいただきたい。</p> <p>・「あいさつ」について生徒・保護者と先生(教職員)の評価に差がありますが、委員の立場から見ても「あいさつ」はよくできています。</p> <p>・来校者等への挨拶については、過去4年間を見ても大きな課題です。来年度からその原因を探り、具体的に取組んでください。</p>
	12	生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	A	・保護者からは礼儀、清掃、時間等の基本的な生活習慣の育成についてはA+B=96.6%という高評価をいただいているが、学校内では、より自主的な無言清掃指導を今後の課題ととらえている。基本的な生活習慣の育成に関しては、今後とも家庭、地域と連携をして取り組んでいく。	
	13	生徒は、時間を守って生活している。	A	・生徒は決まりを守り、落ち着いた学校生活を送ることができている。できる限りの感染症拡大防止対策をとり、学校行事を実施できたこと(必要最小限の保護者公開もできた。)が成果であった。今後も生徒が主役となる指導を継続していく。	
	14	生徒は、きまりを守って生活している。	A	・全教職員で清掃指導、登校指導、下校指導に臨むなど、自ら手本となる行動を意識して実践している。	
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A		
健康・体力	16	学校は、生徒の体力を高めている。	A	・新体力テストの結果では、県平均に達しない種目が多いが、「心と体を鍛える」という目標をもち、長距離走(全身持久力向上)に力を入れて取り組んだ。保護者にも協力いただきロードレース大会も実施できた。全校駅伝練習の取組は本校の自慢できる強みとして今後も継続していく。	<p>・生徒数が少なくチーム編成にも困難があるようですが、対外的にも良い成績ですね。地域における態度も立派です。</p> <p>・体力向上推進委員会の具体的な目標達成に向けしっかりと検証していきましょう。また食育の大切さについても校内で委員会活動などで高めてください。</p> <p>・生徒が力を発揮できる場として、川中の先生方が一致協力して様々な行事が実施されており素晴らしいと思えます。</p> <p>・日本中の学校がコロナ禍で様々な行事を中止にしている中、入間川中は「ロードレース大会」も「なでしこ祭」も実施できたということは、生徒や先生方の感染防止への徹底した取り組みがあったからでしょう。素晴らしい成果だと思う。</p> <p>・長距離走については、ぜひとも続けていただき伝統行事としていただきたいと思います。</p>
	17	生徒は、体育や健康増進の実践に意欲的に取り組んでいる。	B	・感染症拡大防止対策に全校そして家庭にも協力してもらい、取り組んだ。家族を含めた毎日の検温や健康観察、マスクの着用や手洗いと消毒、換気など生活実践のなかで食や健康に対する意識を高めている。	
	18	生徒は、健康を意識した生活をしている。	B		
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	・情報提供に関する保護者関連評価項目ではA+B=95.2%であった。学校公開が実施できないなか、学校だより、HP、さやまっ子緊急メールを使用して積極的な配信をした。	<p>・さやまっ子緊急メールを適切に活用して素早くわかりやすいメール配信がありました。ありがとうございました。</p> <p>・コミュニティースクール化の機運にあります。川中における課題や悩みを遠慮なく表に出していただき、地域の力を集結して解決していくことだと思います。</p> <p>・これまで子供たちの活動(体育祭・合唱祭等)を見させていただきましたが、本当に素晴らしい子供たちです。このような子供たちのがんばりをこれからも地域との連携の中で見せてください。</p>
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	・多くの地域の活動が中止となったが、できる限りのボランティア活動は継続し、また、地域の協力による環境整備も実施できた。	